

2014年3月1日発行
第574号(通算)
発行:奇数月1日
会員購読料:1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境と健康

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

近光 章
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511番
振替口座01380-2-27511
URL http://www.kanhokyo.or.jp/

平成25年度 地域活動支援基金活用事業報告

人材・メニュー・資金の支援 存在感高め地域の発展へ



ポスター・標語コンクール受賞者の記念撮影(上)、企画づくりを行う受講者(下)



当協会の「地域活動支援基金」の活用事業として、平成20年度にスタートした「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」「環境啓発ポスター・標語コンクール事業」、平成21年度にスタートした「市町公衛協事務局活性化事業(平成25年度より市町公衛協事務局サポート・養成事業)」の3つがある。これらの事業について、平成25年度の状況を報告する。

◆環境と健康の「コミュニティ活動助成事業」
平成20年度にスタートしたこの事業は、平成24年度から「導入型」「発展型」「広域型」の3部門で行っている。平成25年度は、導入型2件、発展型8件、広域型2件の計12件(2面参照)である。助成件数の経年変化をみる

と、平成23年度は9件、平成24年度が5件とやや少ないものの、例年10件以上の申請がある。廿日市市佐伯公衛協、世羅町西大田地区公衛協は、今年度初めて申請があった。また、「北広島町笑顔で取り組む脱温暖化のまちづくり事業」(北広島町)は、平成20年度当初から継続して申請実施している事業で、毎年、工夫をこらした活動を行い、発展型としての成果を挙げている。このほかでは、世羅町公衛協は、平成21年度からさまざまな事業を継続して申請展開している。また、福山市泉学区公衛協は、学社融合型の事業を平成22年度から継続して取り組んでいる。

◆環境啓発ポスター・標語コンクール事業
平成20年度にスタートしたこの事業は、平成25年度は21団体の参加を得た。経年変化をみると、年度ごとに多少の増減はあるものの、増加傾向にあり、今年度は21団体と過去最高である。平成25年度は、「私たちが守る地球を」 というテーマに変えて募集したところ、小・中学校から、ポスター1万3156点、標語1万7343点の応募があった。これら3万点余りの作品の中から、ポスター256点、標語258点が推薦作品として当協会に提出され、選考委員会にて第2次選考を経て入選作品72点(ポスター35点、標語37点)が選考された。11月20日に開催された「第54回広島県公衆衛生大会」の表彰式では、12人の児童・生徒が表彰され、受賞者は「ロフィー」を取り、喜びをかみしめていた。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

また、コンクールで集めた作品を活用する「事後フォロー活動」を展開する団体は14団体で、地元で開催する祭りやイベントでの作品展示や表彰式の開催、優秀作品をクリアファイルに印刷して配布するなど、地元ならではのさまざまな活用と広報活動が展開されている。

この事業は、年を重ねるごとに応募作品も多様化し、デザインやキャッチコピーのレベルも上がっている。今後とも、地域の盛り上がり期待してさらなる事業の展開を図りたい。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすものである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすのである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

◆市町公衛協事務局サポート・養成事業
平成21年度にスタートしたこの事業は、公衛協事務局員をサポートする人材を育成するため、資金面で支援や各種研修による力量形成を図り、公衛協組織の強化をめざすのである。平成25年度の支援対象公衛協は、竹原市、北広島町、東広島市、世羅町、尾道市の3市2町で、すべて複数年の支援実績がある。支援対象数をみると、平成21年度当初は2市であったが、以降は毎年5~6市町の公衛協を支援している。

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表]
FAX:082(293)1520

かんほきょう 検索

